

音楽授業ビギナーズ★実践発表会

# 若手先生の 確かな実践に ワクワク!! Vol.8

コーディネイター：平野次郎（筑波大学附属小学校教諭）

平野次郎先生が指導する、若手先生の  
研究会「音楽授業ビギナーズ」の  
メンバーが、授業研究の成果と  
**フレッシュな実践事例**を発表します！  
「少しでも音楽科の授業を良くしたい！」  
と真剣に考え、仲間とともに研鑽に  
励んできた若手先生の視点には、  
日々の授業づくりに活かせる新鮮な  
ヒントもいっぱい！  
そして各授業に対する平野先生の  
アドバイスにも、ぜひご注目ください！

2026年 8月 24日(月)  
19:30-21:00 (19:20 受付開始)

Zoomによるオンラインセミナー形式  
アーカイブ配信付き (配信期間：9/5～9/30)

参加費 1000円

★「学習指導要領と仲良くなろう Season9」3回通し券を  
ご購入の方には、本セミナーに無料でご参加いただけます！  
(詳細は申込ページでご確認ください)

発表1

田中摩耶先生（東京都）

子どもたちの言葉をつなぎながら深める合奏表現

教材曲：鑑賞『木星』、器楽『ラバース コンチェルト』（6年）

様々な楽器の組み合わせから生まれる響きの美しさや豊かさを  
味わいながら『木星』を鑑賞したり、パートの役割や楽器の音色の  
特徴を生かしながら『ラバース コンチェルト』の合奏に取り組んだり  
することで、子どもたちが響き合う音の美しさを実感できるような  
授業づくりを目指しました。子どもたちが思いや考えを言葉で伝え  
合い、それを基に音で表現できるよう、一人一人の言葉をつなぎ  
ながら合奏表現をより豊かにする授業実践についてご紹介します。

発表2

茅野 萌先生（千葉県）

「楽しい!」をつなぐ鍵盤ハーモニカの授業

教材：「どれみとなかよくなろう」（1年）、「ドレミであそぼう」（2年）

子どもたち一人一人が試し、気付き、学びを深めていくプロセスを重  
視した実践です。幼児期からの育ちや1・2年生の学びの連続性を  
踏まえ、音程感覚を養い演奏する技能を身に付けながら、主体的  
に表現する姿を目指しました。幼小連携のアイデアもご紹介します。

発表3

清和志保先生（埼玉県）

つながりから生まれる音楽の学び  
-学年交流を生かした授業実践-

教材：「リコーダーとなかよし」（3・4年）

「音楽朝会での学年交流」（全学年）

「音楽を通して、学年を越えたつながりをつくれないだろうか」…そ  
んな思いから、本校では異学年交流を取り入れた音楽の授業や  
活動を行ってきました。今回は、子どもたちの関わり合いや学びの  
変化を中心に、実践の様子をご紹介します。

お申込み

右のQRコードより、「teket」にてお申込みください

★お申込み・Zoom でのご参加にあたっては、留意事項がいくつかあります。  
詳細は右記 teket のページでご確認ください。

受付締切

開催当日までお申込みいただけます！（アーカイブも視聴最終日 9/30 まで受付）

